

発行日 平成25年5月15日

# センター月だより

## 4月分の活動状況報告

東濃西部少年センター

### ・声かけ活動

	多治見	瑞浪	土岐	合計
指導件数	3	1	0	4
声かけ件数	239	161	115	515
参加者数	54	27	28	109

(指導日誌より抜粋)

#### 多治見地区

- ・ 駅北口に下校中の高校生がいた。風雨が強かったので、気を付けるように声をかけた。(4/6 共栄 3)
- ・ 春休み中の子どもたちに出会うために日時を変更したが、雨で人通りも少なかった。3人の子どもが傘もささずに走り過ぎて行ったので「気を付けてね。」と声をかけると、「はーい」と元気な返事を返してくれた。(4/6 南姫 9)
- ・ 下校中の小学生高学年に池田交差点で声かけした。宝町親水公園でも元気に遊ぶ小学生がいた。(4/15 池田 6)
- ・ オンセンド根本店の話では、「春休みの間、おもちゃやアクセサリー売場に、子どもたちがたくさん来店していたが、問題は無かった。」とのこと。先生方が近辺の見回りをして下さっている。新学期の登下校も、地域まで付き添っていただいております。(4/16 根本 10)
- ・ 市内小中学校の教員総会の日で、遊んでいる子どもたちに声かけした。気を付けて帰るように言うと、とても良い返事が返ってきた。(4/18 養正 1)
- ・ 集団下校の後だったため、下校時の声かけは出来なかったが、公園で遊んでいる子どもたちのあいさつは、感じが良かった。(4/18 脇之島 12)
- ・ 屋外で遊ぶ児童は少なかったが、児童館では10名ほどの子どもたちが遊んでいて、あいさつもきちんとしてくれた。(4/27 北栄 11)

#### 瑞浪地区

- ・ 夜桜見物の中学生、高校生、親子連れが出ていて、声かけがたくさんできた。駅西で自転車の中学生1人が無灯火だったので注意した。(4/1 瑞浪 B)
- ・ 新年度最初の校門前「あいさつ運動」だったが、新1年生が一番元気よくあいさつを返してくれた。次に2年、3年の順になるようです。(だんだん難しい年頃になって行くのかな?) 校長先生も新しく着任され、生徒会とともに大きな声であいさつされていました。気持ちが良いですね。(4/16 陶 E)
- ・ ゲンキーの裏で男子高校生4人がお菓子を食べていた。早く帰るように声かけした。(4/19 稲津 F)

## 土岐地区

- ・三洋堂書店や三起屋では、母親と一緒にの子が多かった。子どもだけかと思ひ声をかけると、ほとんど母親が近くにいた。春休み中だったが、中・高生は少なかった。(4/3 泉 9)
- ・駅前にて啓発活動。配布物を受け取ってくれる人たちの表情が明るい。春休み中のためか高校生、若者は少なかったが、あいさつは良く返してくれた。(4/3 特)
- ・陶史台公園で遊んでいた10人の小学生に声かけした。「今、何時？」と聞かれたので、「4時53分だよ。5時になったら帰ろうね。」と返した。(4/26 下石 2B)

### センターから

指導日誌からは、今月も「子どもたちの元気な返事が気持ち良かった。」という報告が多くありました。うれしいことです。

その一方で、今月も自転車の無灯火等のマナー違反の報告がありました。事故につながる危険です。各学校へ情報提供したり注意喚起を行っていきたいと考えています。

24年度の指導員さんの任期は4月まででした。1年間ありがとうございました。尚、25年度指導員の委嘱式は下記のとおり開催されます。万障繰り合わせてご出席お願いします。

5月の行事

#### 平成25年度東濃西部少年センター指導員 委嘱式

日時 平成25年5月18日(土) 13時30分～15時30分

場所 土岐市文化プラザ ルナホール



心で見なくちゃ、ものごとはよく見えないってことさ。

かんじんなことは、目に見えないんだよ。

『星の王子さま』サン・テグジュペリ著 内藤濯訳より

先月の日野原重明さんの言葉から思い出しました。日野原さんも「星の王子さま」のこの一節が心に浮かんだのではないのでしょうか。

サン・テグジュペリの「星の王子さま」は児童文学ですが、大人にとっても大切なメッセージに満ちています。

ひとはともすると自分を飾ろうとします。ものごとも都合よく取り繕います。ですから、かんじんなことや真実を見極めるためには、心の目が必要だと、キツネは王子さまに教えたのでしょう。